



Bloom where you are planted.

# 車輪梅

＜鹿島中学校 学校だより＞

【令和4年3月号】

《重点目標》『品格を磨き 見通しをもって 粘り強く 共に高め合おう』

## 第39回卒業証書授与式を挙行了しました！

3月11日(金)、令和3年度第39回卒業証書授与式を行いました。新型コロナウイルス感染防止のため、限られた諸条件のもと、教職員・在校生がこの日のために感染対策と創意工夫を施して心を込めて準備を進めてきました。式場では教職員と保護者の皆様が、各教室では在校生がリモートで卒業生の門出を祝福しました。

在校生代表が、新たな道へと進んでいく卒業生に向けて、「これまでと変わらぬ笑顔で輝き続けてください。辛いときには、鹿島中学校で過ごした3年間を思い出してください。そして、私達後輩をここまで成長させてくれたのは先輩方ということも忘れないでください。」と送辞を述べ、卒業生代表が、「我慢や変更を強いられた日々でさえも、鹿島中学校での生活が愛おしいと感じられるのは、在校生の皆さんの支えがあったからこそです。次は皆さんの番です。自信を持って、新しい伝統を築いていってください。私たちについてきてくれてありがとう。」と、仲間や後輩とともに過ごした中学校生活を振り返りながら、答辞を述べました。

在校生による式歌「旅立ちの日に」は、事前に14グループの歌唱とピアノ伴奏を収録し、収録風景や各クラス「卒業」をテーマにした黒板アートの画像と重ね合わせてスライドショーにして届けました。卒業生による式歌「あなたへ」は、感染症対策のためマスク着用のままの合唱でしたが、その歌声からは、これまでの感謝の思いと、これからの決意が伝わってきました。



### ＜式辞抜粋＞

皆さんにとっての中学校生活の大半は我慢の連続だったかも知れませんが、たとえ制約があっても、できることがあると信じ、前を向いてやれることを見

つけてきたからこそ、折れないしなやかな強さを身につけることができたのではないかと思います。

東日本大震災から今日で11年となります。沿岸部では復旧が進み、新たな産業の創出や多様な人材の活躍の場が整備されてきましたが、復興は道半ばです。また、時間が経つにつれて進む記憶の風化など課題は山積しています。さらに、AIをはじめとした科学技術の発展により私たちの暮らしが便利で豊かになる一方で、世界各地での大規模自然災害の発生、感染症の世界的大流行、国際的な武力紛争の勃発など、私たちの未来は予測不可能で不確実な時

代へと向かっていきます。

中学校卒業後、皆さんが歩いていく人生においては、さらに大きな困難や試練が待ち受けているかも知れません。

「置かれた場所で咲きなさい。雨の日、風の日、どうしても咲けない時は、根を下へ下へと伸ばしましょう。次に咲く花がより大きく、美しいものとなるように。」

この鹿島中学校での3年間でそうであったように、どこに置かれても精いっぱいの花を咲かせるために努力していってください。皆さん一人一人の「花」が立派に美しく咲きますように。応援しています。

### 式次第

- ・卒業生入場(CDによる入場曲)
- 1 開式のことば
- 2 国歌斉唱(マスクを着用して歌唱)
- 3 学事報告
- 4 卒業証書授与
- 5 校長式辞
- 6 教育委員会挨拶(印刷物)
- 7 来賓祝辞(PTA会長様)
- 8 祝電披露
- 9 送辞(在校生代表2年)
- 10 答辞(卒業生代表3年)
- 11 式歌 (在校生…事前収録のスライドショー)  
(卒業生…マスクを着用して歌唱)
- 12 校歌斉唱(マスクを着用して歌唱)
- 13 閉式のことば
- ・卒業生退場(CDによる退場曲)

